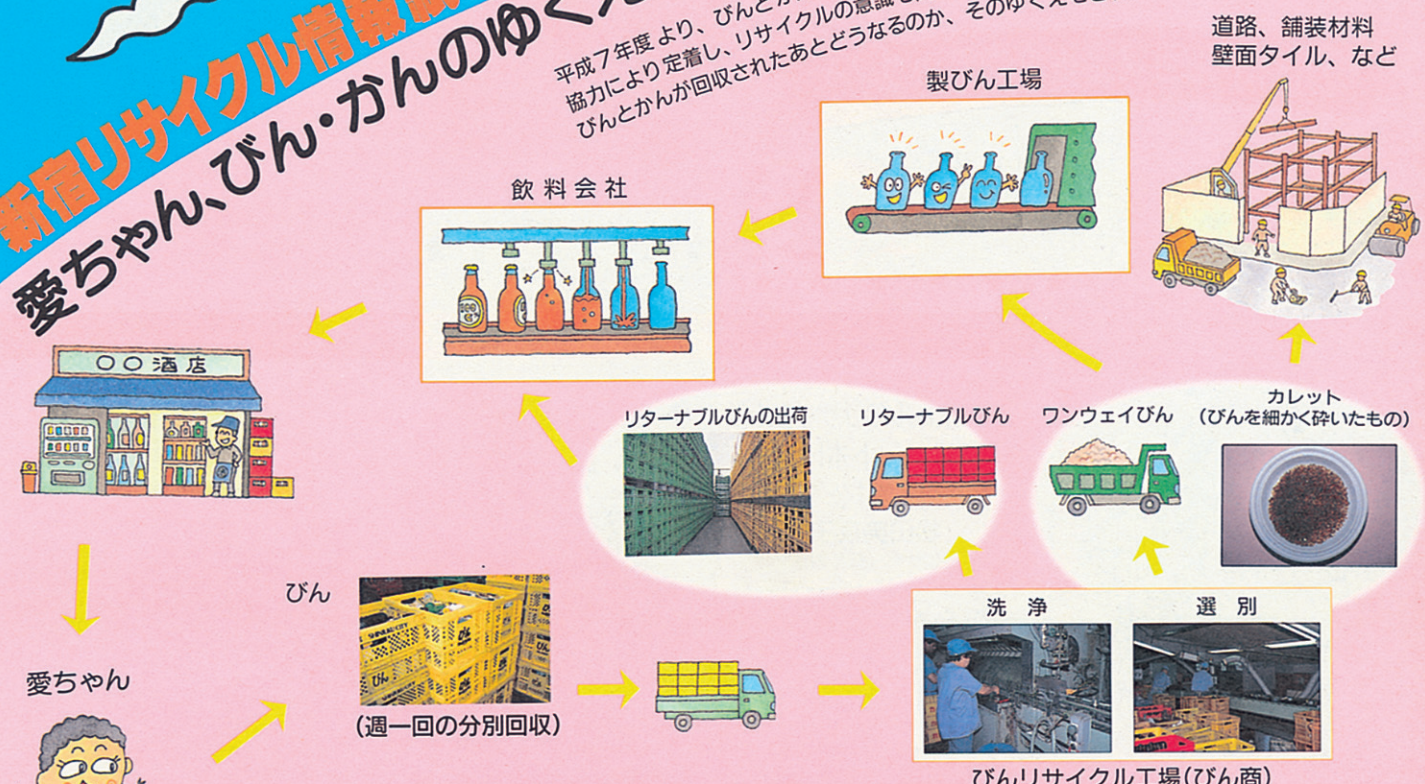


新宿リサイクル情報紙

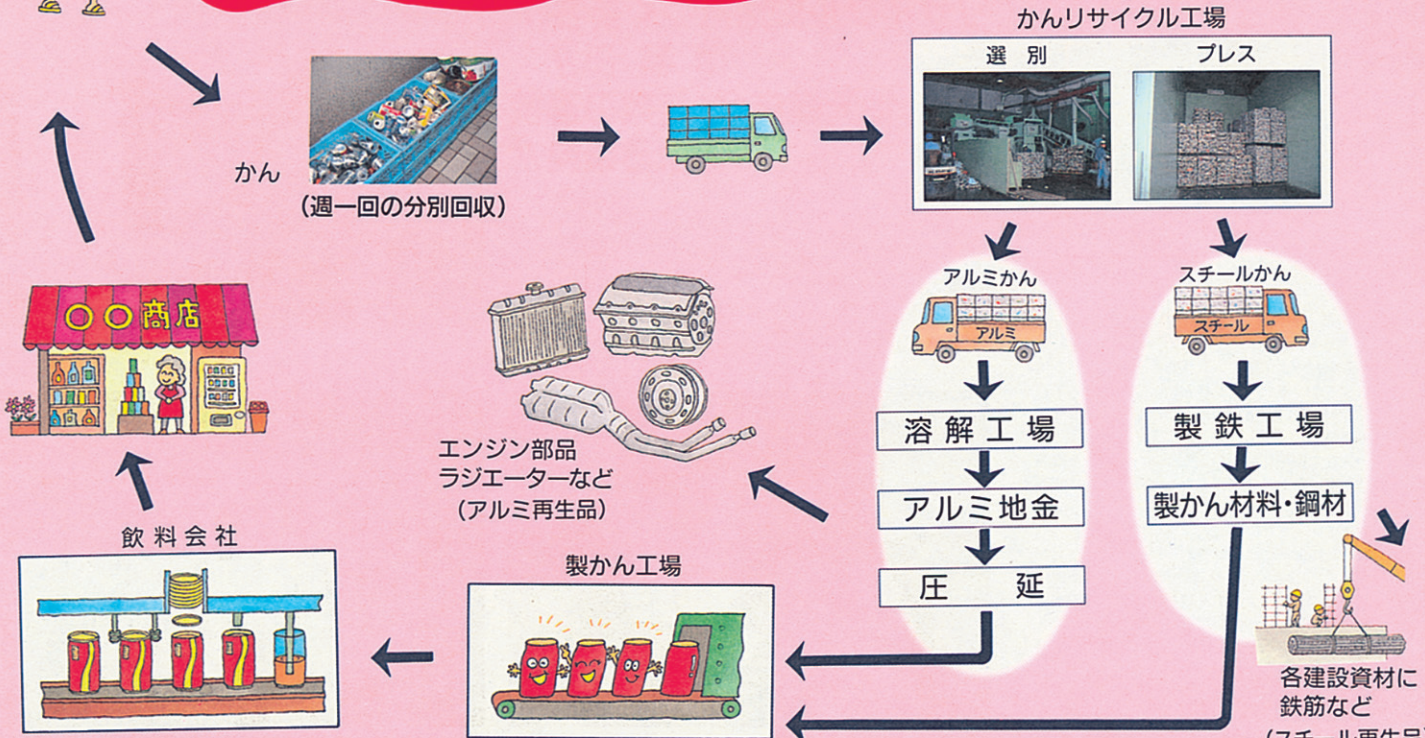
愛ちゃん、びん・かんのゆくえを探るの巻

編集・発行
東京都新宿区環境部
リサイクル推進課
〒160-8581 新宿区内藤町87
TEL 3209-1111代
年2回(8月、2月)発行

平成7年度より、びんとかんは全区的に分別回収が行われています。分別回収は区民の皆様との協力により定着し、リサイクルの意識も高まってきています。今回は、わたしたちが出したびんとかんが回収されたあとどうなるのか、そのゆくえをこれから探検してみたいと思います。



回収箱に入れる時は、中身を全部だして、軽くゆすいでから入れようね。
びんのキャップ、王冠は、不燃ごみに出しましょう。



日本は開放的な面を持っているよ。例えば伝統的な日本家屋なんかは、夏の風、戸という戸は、開け放しだし、榻榻米などは、露地に並べてあるしね。着るものもそうだね。浴衣とか、そうそう、ステテコにダボシャツで街を闊歩したりして。やだー、あんなって、完全な「お・や・じ」。ぼくのことが...

論奏

五月十七日に早稲田文化週間というエコロジーとリサイクルを考えるイベントに再生品の展示という形で新宿区リサイクル推進課の方々と私、地域の文具販売店とが協力して出店させていただきました。私は早稲田で六年以上文具店を営業している店主三代目担当の者です。商品販売している立場から見たりリサイクルについての意見をここで述べてみたいと思います。

(一)数年各文具メーカーは様々なリサイクル商品、エコロジー商品や再生品を発表してきています。再生紙を使用したノートやファイル類、回収されたペットボトルや食品トレイを主材料としたボールペンなどの筆記用具、廃材や削りくずを寄せ集めて作られる木製品類(鉛筆の軸部分)など各社様々な商品を発表していますが、一般の消費者の方は御存じでしょうか？

実は私もこのイベントに参加することが決まってから各メーカーの営業の方からサンプルを見てもらい、初めて目にする商品が数多くありました。仕事柄様々な文具店を見てきたが、この売り場でもあまりこのような商品を見かけるとはありませんでした。私の店も同様に再生商品を店頭には並べることがありませんでした。理由としては売れなからずです。私ももちろん売れ残った商品は扱わないのが基本です。やはり、店頭にはならびません。

しかし、先日イベントを終えて、考え方も変化してきました。一般の消費者の方々に再生文具の説明をしたり、サンプル品をお配りしたり、数多くの

人の声を直接聞くこと意外とリサイクル運動や地球環境について関心を持っている方が多いのです。自分たちが分別回収に協力しているペットボトルや食品トレイや牛乳パックなどが再生されて製品に変わっているのを見て、リサイクル活動を行なってきた結果が出ることにとても満足し、また、より一層活動をしていこうと私に言っていく方が数多くおられました。また、関心を持ってくださった方々は、どこで売っているのか、他にはどんな物があるのかなど、熱心に聞かれるのには私も驚きました。確かに分別回収などは社会的に定着してきているように思っています。

しかし、このようにして集められた物が再び一般の消費者に渡っているかと言うと、そうではないでしょう。理由としては、私たちが販売店が再生品は売れないと勝手に思い込んでしまっただけで、売れないと大きいのではないのでしょうか。数年間までは、やはり、消費者の方の再生品に対する関心は低かったです。消費者の方は、自分たちの将来の問題だと真剣に考えている方が数多くいます。特に大学生ぐらいの年代が、自分たちの将来の問題だと真剣に考えている方が数多くいます。

私はこれを機会に消費者の方々に再生品をより多くご紹介し、回収するだけでなく、一方通行にならずに、再生品が社会で流通し、回収された資源をきちんと活用できる本当のリサイクル社会になるよう消費者が選択できる環境を創出できたらいいなと思っています。

最後にこのように考える機会を与えてくださった新宿区のリサイクル推進課の方々に心からお礼を申し上げます。(文具小売店店主)



リサイクル活動

「元栓を締めた方が早道じゃないか？」

High Moon

(漫画ゴミック「廃棄物」VOL.3 高月敏著 朝日新聞)

ペットボトル回収促進夏期限定クイズ

東京都では、平成9年4月からペット(ポリエチレンテレフタレート)ボトルを販売店さんの協力により店頭回収をしています。さて回収しているペットボトルのマークはどれでしょう。

- 1 PET
- 2 PP
- 3 PS



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

世界のリサイクル事情 その17

ペットボトルのリサイクルは再び、ペットボトルに

松田美夜子 (リサイクル研究家)

スイスのリサイクル率は世界のトップをいきました。昨年('97年)の夏、スイスを訪ねて、ベルンの連邦環境省でそのデータをいただきました。ペットボトルのリサイクルは日本のよりもさらに新しい取り組みがされています。日本の場合、ペットボトルを回収すると、ポリエチレンの繊維に戻して、生地をつくり、それでワイシャツやスポーツシャツなどの洋服を作っています。

ところが、スイスでは、ペットボトルはペットボトルに生まれ変わっていました。つまり、ガラスびんはリサイクルされると再び、ガラスびんが作られます。それと同じようにペットボトルもリサイクルされると、溶かすだけで、再びペットボトルに作られています。回収されたペットボトルは再生ペットとなり、それで再び、ボトルを作ったあと、新しいペットの被膜でボトルの両面をうすくコーティングするという方法です。日本では、今、トレイをリサイクルに出すそのトレイは再びトレイに生まれ変わります。そのとき両面にうすい被膜をかけます。それと同じ技術がペットボトルで行われていました。ペットボトルのリサイクル品が日本

では、あまり売れないといわれています。それは、繊維に戻すからリサイクル費が高くなるからです。ペットボトルからペットボトルに戻していけば、ペットボトルの循環の環ができます。日本も早くそうなることを願っています。しかし、スイスが最も力を入れていることは、ごみを発生させないことです。ペットボトル1ℓ以上のもは、12回位、洗って使うのが一般的です。デポジット制度でお店に返却すると50円お金が戻るシステムが健在です。0.7ℓ以下のペットボトルは、リサイクル費が5円定価に上乗せしてあります。そして、街のあちこちにペットボトルの回収箱があります。回収率は80%を達成。日本の回収率はわずか9.7%(97年度)です。

情報コーナー

● リサイクル活動センターでは、新宿環境リサイクル活動の会との共催で8月25・26日に「親子夏休み教室」を開催いたします。牛乳パックを使った小物作りや広告紙を使ったカゴ作り等、身近なものからリサイクルを是非、この機会に体験し、夏休みの宿題に活かしてはいかがでしょうか。詳細は、リサイクル活動センターへお問い合わせください。(☎5330-5374) また、新宿環境リサイクル活動の会の会員も随時募集していますのでご応募お待ちしております。

編集後記

4月にメンバーが大幅に入れ代わり、取り上げる内容を何にするか、紙面づくりはどのようなかたちで進めていくのか、新鮮な感覚で編集会議ができたのではないかと考えています。私達の住むこの地球の環境を守り、有限である資源を大切にしていかなければならないという点では認識が皆一致しました。このことは多くの人がそうであると思いますが、それではどのように生活し、具体的にどんなことに配慮するかは各人の価値観により異なると思います。『今までどおり買物はしたい、不要になればフリーマーケットに出せばいい』そんなふうにお考えの方も多いのではないのでしょうか。さて、皆さんが出された資源がどのようなルートをとって運搬、加工、処理され、再生品として生まれ変わるのか、そして、再び皆さんの前にどんな形で現れるのか、今回は身近なびん、かんにしほって紹介してみました。資源のリサイクルに努めていらっしゃる方、関心のある方の参考になれば幸いです。

リサイクルに活気づくまち、早稲田!! 大学、地元商店会、行政の連携による祭典!!

次の世代に借りを残していくわけにはいきません。そんな思いから、早稲田は、地球市民としてより良い環境を引き継ぐために街ぐるみで環境保全・資源循環のしくみを考え、ごみ排出ゼロをめざしています。今回は「早稲田文化週間」というイベントの中で「再生文具」をPRする機会を得ました。



大隈講堂前において「再生品展示コーナー」を開設。再生品に関心があり資源を大切に考えている人が意外と多かったようです。



配布用のサンプルを求めたところ、多くの文具メーカーからの協力がありました。



文具メーカーから提供されたサンプルを一目で見られるように、また、解説付でパネル化してみました。数多くの人が熱心に見入っていました。

日本企業も日本国内でのリサイクルの推進を促すべく、環境にやさしい商品やリサイクル商品の開発に力を入れています。また、環境にやさしい商品やリサイクル商品の開発に力を入れています。また、環境にやさしい商品やリサイクル商品の開発に力を入れています。

日本企業も日本国内でのリサイクルの推進を促すべく、環境にやさしい商品やリサイクル商品の開発に力を入れています。また、環境にやさしい商品やリサイクル商品の開発に力を入れています。また、環境にやさしい商品やリサイクル商品の開発に力を入れています。